平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月24日

上場会社名　鉱研工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6297　URL　http://www.koken-boring.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 末永　幸紘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　管理本部長　(氏名) 大谷　幸彦　TEL 03-6907-7888

四半期報告書提出予定日　平成23年11月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,023	△25.1	△40	―	△82	―	△90	―
23年3月期第2四半期	2,700	△0.4	△124	―	△198	―	△295	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△88百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△294百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△10.04	―
23年3月期第2四半期	△32.93	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,393	1,479	22.8
23年3月期	7,110	1,568	21.8

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　1,460百万円　23年3月期　1,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△13.3	125	△57.8	48	△78.4	30	2.5	3.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	8,970,111 株	23年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,029 株	23年3月期	3,029 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,967,082 株	23年3月期2Q	8,967,169 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……12
（５）セグメント情報等 ……12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災後の停滞を脱し、景気持ち直しの動きが加速しましたが、債務問題とそれに伴う金融市場の動揺を背景に欧米経済の景気減速感が強まり、急激な円高進行も加わって、先行きの不透明感が続く状況となっております。

こうした中、当社グループでは本年４月より開始した「中期経営計画」に基づき、売上高の持続的拡大と収益体質の確立を基本方針として、グローバル展開の促進、市場・顧客開拓力の向上、得意分野の深化、損益分岐点の引き下げ、コーポレート・ガバナンスの確立に取り組んでおります。

当第２四半期連結累計期間は、ボーリング機器関連および工事施工関連の受注がともに伸び悩み、受注高は前年同四半期比18.5％減の2,472百万円となりました。受注高の減少に伴い、当第２四半期連結累計期間の売上高も前年同四半期に比べ25.1％減少の2,023百万円となりました。

当社グループでは、前連結会計年度に引き続き、経営の合理化を促進し、経費の削減に努めております。当第２四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期に比べ大幅に減少したものの、当社が得意とするビッグマン・レイズボーリング工事等の大型工事において原価率の低減を図ったことにより、売上総利益は前年同四半期より65百万円増加し、販売費及び一般管理費も前年同四半期に比べ18百万円削減したことから、営業損失は40百万円（前年同四半期は124百万円の営業損失）になりました。また、ＯＤＡによる海外工事に伴うリスクヘッジを目的とした為替予約において、円高の進行により為替差損24百万円の営業外費用が発生したことにより、経常損失は82百万円（前年同四半期は198百万円の経常損失）となり、当第２四半期連結累計期間は四半期純損失90百万円（前年同四半期は295百万円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

（ボーリング機器関連）

当セグメントにおきましては、当第２四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比21.0％減の1,326百万円となり、国内、海外ともに売上高が伸び悩みました。特に海外において中国向けの機械販売が減少したことで、売上高は1,197百万円と前年同四半期比19.2％減となり、セグメント損失（営業損失）116百万円（前年同四半期は123百万円のセグメント損失）を計上いたしました。

（工事施工関連）

当セグメントにおきましては、当第２四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比15.4％減の1,146百万円となりました。国内はビッグマン・レイズボーリング工事の進捗が完成工事高に寄与したものの、海外のＯＤＡ工事が減少したことから、売上高は825百万円と前年同四半期比32.2％減となりましたが、ビッグマン・レイズボーリング工事等の大型工事の原価低減を図った結果、セグメント利益（営業利益）として75百万円（前年同四半期は１百万円のセグメント損失）を計上いたしました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して717百万円減少し、6,393百万円となりました。

流動資産は、ボーリング機器関連において生産高の増加により商品及び製品が341百万円、仕掛品が39百万円増加し、工事施工関連においては仕掛工事が進捗し始めたことにより未成工事支出金が198百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金、完成工事未収入金が主に回収により861百万円減少し、また現金及び預金も主に借入金の返済により401百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して650百万円減少し、4,353百万円となりました。

有形固定資産は、機械装置及び運搬具、工具器具及び備品などで３百万円の設備投資を行いましたが、減価償却の実施、一部資産の除売却等により、前連結会計年度末と比較して固定資産全体では66百万円減少し、2,040百万円となりました。

②負債の部

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して628百万円減少し、4,913百万円となりました。

流動負債は、工事未払金が20百万円、賞与引当金が３百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が支払いにより400百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が返済により86百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して452百万円減少し、2,878百万円となりました。また、固定負債は、長期借入金が約定弁済により153百万円、社債が償還により25百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して176百万円減少し、2,035百万円となりました。

③純資産の部

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失として90百万円を計上したことなどから1,479百万円となりましたが、総資産を圧縮したことにより、自己資本比率は前期末の21.8％から22.8％となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第２四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより595百万円となり、前連結会計年度末に比べ437百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、130百万円の支出（前年同期は273百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少866百万円、未成工事受入金の増加86百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失の計上75百万円、たな卸資産の増加590百万円、仕入債務の減少380百万円、法人税等の支払い29百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に定期預金の預入により35百万円の支出（前年同期は３百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、265百万円の支出（前年同期は105百万円の支出）となりました。長期借入金は85百万円を新規に借入れたものの、約定弁済により221百万円の返済を、社債は25百万円の償還をいたしました。短期借入金は、400百万円の調達に対し、504百万円の返済を実行いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、平成23年４月25日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成23年10月24日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

（連結業績予想）

売上高	5,800百万円	（前期比　13.3％減）
営業利益	125百万円	（前期比　57.8％減）
経常利益	48百万円	（前期比　78.4％減）
当期純利益	30百万円	（前期比　2.5％増）

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,477	723,690
受取手形及び売掛金	1,419,531	848,451
完成工事未収入金	480,224	189,394
商品及び製品	1,196,774	1,537,934
仕掛品	206,292	245,808
未成工事支出金	79,595	278,540
原材料及び貯蔵品	376,781	386,093
前渡金	72,027	46,806
その他	64,839	110,486
貸倒引当金	△17,784	△14,123
流動資産合計	5,003,760	4,353,082
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,351,566	1,351,566
その他（純額）	654,328	590,971
有形固定資産合計	2,005,894	1,942,537
無形固定資産	7,114	6,885
投資その他の資産		
その他	236,632	230,603
貸倒引当金	△142,593	△139,788
投資その他の資産合計	94,038	90,815
固定資産合計	2,107,047	2,040,238
資産合計	7,110,807	6,393,320

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,517,879	1,116,939
工事未払金	26,735	47,250
短期借入金	844,779	740,000
1年内返済予定の長期借入金	433,480	451,480
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
賞与引当金	113,989	117,635
受注損失引当金	4,700	－
その他	339,233	355,124
流動負債合計	3,330,796	2,878,429
固定負債		
社債	100,000	75,000
長期借入金	1,090,280	936,540
退職給付引当金	708,805	711,063
役員退職慰労引当金	99,097	98,988
資産除去債務	10,858	10,925
その他	202,899	203,028
固定負債合計	2,211,941	2,035,545
負債合計	5,542,738	4,913,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,846,297	1,846,297
資本剰余金	1,687,943	1,687,943
利益剰余金	△2,119,319	△2,209,364
自己株式	△1,243	△1,243
株主資本合計	1,413,677	1,323,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△887	△549
土地再評価差額金	136,943	136,943
その他の包括利益累計額合計	136,055	136,393
少数株主持分	18,335	19,319
純資産合計	1,568,068	1,479,345
負債純資産合計	7,110,807	6,393,320

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	2,700,375	2,023,417
売上原価	2,189,941	1,447,914
売上総利益	510,433	575,502
販売費及び一般管理費	634,590	616,209
営業損失（△）	△124,156	△40,706
営業外収益		
受取利息	1,232	654
受取配当金	137	37
受取手数料	2,024	－
貸倒引当金戻入額	－	4,525
賞与引当金戻入額	－	840
その他	4,459	8,353
営業外収益合計	7,854	14,410
営業外費用		
支払利息	35,089	27,406
支払手数料	1,719	159
為替差損	42,758	24,975
その他	2,882	3,807
営業外費用合計	82,450	56,348
経常損失（△）	△198,752	△82,644
特別利益		
固定資産売却益	2,259	68
貸倒引当金戻入額	10,706	－
賞与引当金戻入額	5,464	－
債権受贈益	－	7,861
特別利益合計	18,430	7,929
特別損失		
固定資産売却損	122	587
固定資産除却損	571	200
減損損失	6,719	－
投資有価証券評価損	1,669	－
臨時損失	23,931	－
不適切取引損失	69,484	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,878	－
特別損失合計	106,377	787
税金等調整前四半期純損失（△）	△286,698	△75,502
法人税、住民税及び事業税	8,913	13,228
法人税等調整額	△367	329
法人税等合計	8,545	13,558
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△295,243	△89,060
少数株主利益	32	984
四半期純損失（△）	△295,276	△90,045

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△295,243	△89,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,169	337
その他の包括利益合計	1,169	337
四半期包括利益	△294,074	△88,723
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△294,106	△89,707
少数株主に係る四半期包括利益	32	984

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△286,698	△75,502
減価償却費	77,101	65,779
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,878	－
減損損失	6,719	－
投資有価証券評価損益（△は益）	1,669	－
有形及び無形固定資産除却損	571	200
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△16,687	△6,467
賞与引当金の増減額（△は減少）	26,042	3,646
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△11,035	2,257
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,134	5,631
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△4,000	－
受注損失引当金の増減額（△は減少）	8,163	△4,700
受取利息及び受取配当金	△1,370	△691
支払利息	35,089	27,406
為替差損益（△は益）	128	6,331
有形及び無形固定資産売却損益（△は益）	△2,136	519
売上債権の増減額（△は増加）	500,624	866,209
未成工事受入金の増減額（△は減少）	59,245	86,360
前受金の増減額（△は減少）	3,300	△15,452
たな卸資産の増減額（△は増加）	△35,570	△590,023
仕入債務の増減額（△は減少）	△131,188	△380,424
前渡金の増減額（△は増加）	61,164	25,221
未払費用の増減額（△は減少）	△74,550	△6,499
その他	95,688	△77,426
小計	321,281	△67,625
利息及び配当金の受取額	1,169	691
利息の支払額	△36,172	△27,676
役員退職慰労金の支払額	△4,500	△5,740
法人税等の支払額	△16,176	△29,671
法人税等の還付額	7,726	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	273,327	△130,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△607	△35,477
定期預金の払戻による収入	3,864	－
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,868	△2,647
有形及び無形固定資産の売却による収入	8,037	826
貸付金の回収による収入	220	120
その他	△925	1,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,720	△35,392

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	927,779	400,000
短期借入金の返済による支出	△822,400	△504,779
長期借入れによる収入	－	85,500
長期借入金の返済による支出	△185,720	△221,240
社債の償還による支出	△25,000	△25,000
その他	△22	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,363	△265,519
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128	△6,331
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	171,556	△437,263
現金及び現金同等物の期首残高	429,840	1,032,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	601,397	595,451

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ボーリング機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,481,467	1,218,907	2,700,375	―	2,700,375
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,509	133	6,642	△6,642	―
計	1,487,977	1,219,040	2,707,018	△6,642	2,700,375
セグメント損失	123,181	1,178	124,360	203	124,156

（注）１．セグメント損失の調整額203千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ボーリング機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,197,502	825,915	2,023,417	―	2,023,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,026	18	11,044	△11,044	―
計	1,208,529	825,933	2,034,462	△11,044	2,023,417
セグメント利益又は損失（△）	△116,677	75,563	△41,114	407	△40,706

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額407千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。